



1～2月に市内で行われたイベントについてお知らせします



寒さに耐えながらの消火訓練



緊迫感のある救助訓練



大きなかまくらが並ぶ



一面の雪に大興奮の子どもたち

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺金堂で火災が発生し、多くの文化財が消失した事をきっかけに「文化財を火災、震災その他の災害から守るとともに、文化財愛護に関する意識の高揚を図る」ことを目的に、昭和30年に制定されました。

今回は、雪が舞う厳しい寒さの中、日光東照宮の重要文化財「御仮殿」付近から出火したと想定し、二社一寺の自衛消防隊と消防団、消防本部が連携して消火活動や救助の訓練を行いました。訓練終了後の式典では、皆が協力して、近年多発している自然災害や火災から貴重な文化財を守り、未来へ残していくことを改めて誓いました。

文化財防火デー消防演習訓練

1月26日(金)、64回目となる、日光二社一寺文化財防火デー消防演習訓練が開催されました。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺金堂で火災が発生し、多くの文化財が消失した事をきっかけに「文化財を火災、震災その他の災害から守るとともに、文化財愛護に関する意識の高揚を図る」ことを目的に、昭和30年に制定されました。

大洗うまいもの市



キッチンカーの前は常に行列が

1月7日(日)～14日(日)、市の観光パートナー都市の茨城県大洗町が、日光街道ニコニコ本陣で「大洗うまいもの市」を開催しました。

7日と14日には、町の漁協などが出資した「大洗新鮮組」のキッチンカーが来場し、しらす丼やしみ汁、アンコウ唐揚げなどを販売。来場者は、海の幸を堪能していました。

また、14日には、アンコウのつるし切りが披露されました。アンコウは体が大きく、表面がヌルヌルしており、まな板でさばきづらいため、つるして、回転させながらさばきます。大勢の観客が見守る中、職人が、つるされた13kgのアンコウを、ひれや皮、エラ、肝、胃袋、ぬの、だい身の7種類の部位に見事にさばいていきました。



プロの包丁さばきに大きな拍手

湯西川温泉かまくら祭

1月27日(土)から、平家の里をメイン会場に、湯西川温泉冬の風物詩である「湯西川温泉かまくら祭」が行われています。このイベントは、日本夜景遺産にも認定されています。

日中は、ソリで遊んだり、大きなかまくらの中で、郷土料理の平家鍋などを堪能したりすることができます。そして夜は、河川敷に並ぶたくさんのミニかまくらに明かりが灯され幻想的な光景が広がります。

宇都宮市から訪れた倉部さんご家族は「仁瑚ちゃん(7歳)が大きいかまくらが見たいということでした。訪れました。碧大くん(4歳)は、こんなにたくさん雪を見るのは初めてなんです」と話してくれました。

湯西川温泉かまくら祭は、3月4日(日)まで開催しています。



今月の表紙

鬼怒川温泉鬼まつり



迫力のある龍王太鼓のステージ

2月3日(土)・4日(日)に鬼怒川温泉駅前広場で第18回鬼怒川温泉鬼まつりが開催されました。

龍王太鼓のステージから始まり、太鼓の音が澄みきった2月の空に響き渡りました。鬼の面をつけた演奏者の迫力のある太鼓に怖がって泣きだす子どもの姿もありました。

その後、ホテル・旅館^{おかみ}の女将たちによるガラマキが行われ、会場は大いに盛り上がりました。鬼怒川温泉では、鬼も地元の守り神とされ、「福は内、鬼も内」の掛け声で豆をまきます。

また、平成29年8月に運行を開始したSL大樹に鬼怒川温泉のマスコットキャラクター「鬼怒太」が登場し、転車中もガラマキが行われ、多くの人でにぎわいました。



盛大に行われたガラマキ



見事な氷の彫刻

全国氷彫刻奥日光大会
1月31日(水)、第12回全日本氷彫刻奥日光大会の展示が湯元の湯ノ湖畔広場で始まりました。
氷点下の気温の中、30日から製作が始められ、全国トップレベルの氷彫刻士10人がチエーンソーなどで動物や人魚などの氷の彫刻作品を製作しました。
夜になると、作品がライトアップされ、訪れた人々は、その美しさに魅了されていました。



一生懸命滑りました！

小学生氷上体育大会
2月6日(火)、日光市小学生氷上スケート大会が日光霧降スケートセンターで行われました。市内の小学生271名が参加し、100m走、500m走、800mリレーが行われました。
晴天に恵まれ、スタンドからは各校の児童を応援する大きな声が会場に響き、参加した児童たちは声援に応えるように滑っていました。



1部では日頃の練習の成果を発表

日光カンマーコール創団5周年記念演奏会
2月4日(日)、日光街道二コニコ本陣で、女声合唱団日光カンマーコール創団5周年記念演奏会が開催されました。
「歌の力で日光を元気に」と、平成24年4月に発足した日光カンマーコールは、現在38名のメンバーで月2回の練習の他、市内外のイベントに参加するなど積極的な活動を行っています。
満席となった今回の演奏会は、



2部は観客も交えての大合唱に！

「日光市の歌」「恋のいろは坂」など市ゆかりの曲から、「仰げば尊し」「翼をください」など誰もが知る名曲まで、多彩な曲を講師陣とともに披露しました。
指揮者を務める日光観光大使の下司^{しもじゆ}愉^う手^て起^きさんは「これから年齢や立場を越えた仲間づくりや生涯学習の場として、皆さまでに愛される合唱団に成長できるよう活動が続けたい」と話してくれました。